

富山県立石動高等学校 シラバス

科目名	現代社会	単位数	2	学科	商業科	学年	2
使用教科書	『高等学校 新現代社会』(第一学習社)	副教材等	『最新図説現社』(浜島書店) 『新現代社会ノート』(第一学習社)				
科目の内容と到達目標	人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。						
学 習 計 画 等							
学期	月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い ・ 目 標			備考(学習活動の特記事項・副教材使用等)	
1	4	第1編 私たちの生きる社会 ①環境と私たちの生活 ②資源・エネルギー問題と私たちの生活 ③科学技術の発達と私たちの生命 ④高度情報社会と私たちの生活	・諸課題を考察させることを通して、幸福、正義、公正など社会のあり方を考察する基盤を理解する。			・『最新図説現社』(浜島書店) ・『新現代社会ワークノート』(第一学習社) (各対応ページ)	
	5	第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方 第1章 青年期と自己の形成 ①青年期の意義と自己形成の課題 ②現代社会における青年の生き方 ③伝統や文化と私たちの生活 第2章 個人の尊重と法の支配 ①民主政治における個人と国家 ②基本的人権と法の支配 ③世界のおもな政治体制	・人生の中で青年期はどのような意味をもつのか、青年期の心理の特徴について理解し、一人前の人間として自立するためには何をしたらよいかを考える。 ・私たちの生活と政治や国家のかかわりについて関心を高め、国家はどのような考え方を背景につくられたのかを理解する。				
	6	第3章 現代の民主政治と政治参加の意義 ①日本国憲法の基本原理 ②平和主義と安全保障 ③基本的人権の保障と新しい人権 ④国民主権と議会制民主主義 ⑤内閣と行政の民主化 ⑥裁判所と人権保障	・日本国憲法の成立過程や明治憲法との比較、天皇の地位の変化、日本国憲法の三つの基本原理について主体的に理解する。 ・国会の地位と構成、権限について理解する。 ・議院内閣制のしくみ、内閣総理大臣の権限、行政の民主化について理解する。				
	7						
2	9	⑦地方自治と住民の福祉 ⑧世論形成と政治参加 第4章 国際政治の動向と日本の役割 ①国家主権と国際法 ②国際連合の役割 ③今日の国際社会 ④核兵器の廃絶と国際平和 ⑤国境と領土問題 ⑥地域紛争と人種・民族問題 ⑦外交政策と日本の役割	・勢力均衡と集団安全保障体制の違いについて考え、国連の役割と課題について理解する。 ・核兵器を廃絶するには何が必要かを考え、核兵器の開発・拡散の状況、廃絶するためのさまざまな取り組みについて、具体的事例をあげて多角的に考察する。 ・国境と領土問題、特に日本の領土問題についての知識を身につける。 ・なぜ人種や民族の違いにより争うのかを主体的に考え、人種・民族紛争の実態、難民問題について理解する。			・『最新図説現社』(浜島書店) ・『新現代社会ワークノート』(第一学習社) (各対応ページ)	
	10	第5章 現代の経済社会と私たちの生活 ①経済社会と経済体制 ②現代の企業 ③市場経済のしくみ ④経済成長と景気変動 ⑤政府の経済的役割と租税の意義 ⑥金融機関のはたらき ⑦戦後の日本経済の動き ⑧産業構造の変化 ⑨雇用と労働問題 ⑩公害の防止と環境保全 ⑪消費者保護と契約 ⑫社会保障と国民福祉	・国際社会の一員として何をすべきかを理解する。 ・経済の基本的なしくみと資本主義経済、社会主義経済の特徴を理解する。企業・家計・政府はどのような活動をしているか、企業の社会的責任について理解する。市場経済、価格機構のしくみについて理解する。景気変動について理解する。経済成長は生活にどのような変化を与えるかを、具体的事例をあげて考察する。 ・財政政策の意義、日本の財政の課題を理解し、財政のしくみ、租税の意義と課題について、具体的に事例をあげて考察し、主体的に考える。 ・技術革新の進展による生活の変化、産業構造の変化、経済のサービス化・ソフト化について、身近な問題と関連させて考察する。 ・日本の公害問題について理解し、公害問題と公害に対する国や企業の対応、公害を防止し環境を保全するための方策について考える。 ・雇用事情の変化とさまざまな労働問題や、消費者問題について、自分自身の問題として具体的事例をあげて考察する。				
	11						
3	12						
	1	第6章 国際経済の動向と日本の役割 ①国際経済のしくみと貿易の拡大 ②国際経済の動向 ③発展途上国の経済と南北問題 ④国際協調と日本の役割 第7章 民主社会に生きる倫理 ①豊かな人生を求めて ②日本の伝統的なものの考え方 ③西洋の自然観と人間観 ④私たちの課題	・貿易の意義、円高・円安の生じる理由、経済のグローバル化について考える。地域的経済統合をはかる動きが見られることを理解しそれによって何がもたらせるかを理解する。国際協力のあり方、国際経済の中での日本の役割について自分自身の問題として考える。 ・哲学や宗教の役割を理解するとともに、人生を豊かに生きるとはどういうことなのかを多角的に考察する。 ・日本の伝統意識を理解し、生活の中での仏教や儒教、西洋思想の影響について、具体的事例をあげて考察する。			・『最新図説現社』(浜島書店) ・『新現代社会ワークノート』(第一学習社) (各対応ページ)	
	2	第3編 ともに生きる社会をめざして ケーススタディ① 税と社会 ケーススタディ②	・平等な社会の実現には、偏見を取りのぞき、主体的に努力することが求められていることを理解する。 ・差別を生み出す偏見について考え、それを克服して、ともに生きるために私たちは何をすべきか、自分自身の問題として考える。				
3	発展途上国の貧困問題の解決をめざして ケーススタディ③ 人口問題と私たちの未来	・教科書に掲載されている図版や写真・資料などを適切に使用し、1枚の給与明細から税について考察したり、フェアトレードを通して貧困問題を考察したり、人口問題を通して私たちの未来を考察したりする。					
<p>提出物・課題等 ・『新現代社会ワークノート』は各考査後に提出 ・ノートは適宜提出</p>							
<p>評価方法 各学期の考査評価・課題への取り組み状況・授業態度などの総合評価</p>							